

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【公開番号】特開 2005-224909 (P2005-224909A)

【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2005-033

【出願番号】特願 2004-37087 (P2004-37087)

【国際特許分類】

B 2 5 F 5/00 (2006.01)

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

【F I】

B 2 5 F 5/00 H

H 0 1 M 2/10 U

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 22 日 (2009.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の素電池を収納した電池パックを電源としたコードレス電動工具であって、
電動工具の被制御動作に関与する被検出因子を検出するためのセンサ、センサの検出出力を受けて電動工具の動作を制御する制御手段、及び被検出因子の情報を記憶する記憶手段を電池パック内に設けたことを特徴とするコードレス電動工具。

【請求項 2】

複数の素電池を収納し、コードレス電動工具の電源となる電池パックであって、
電動工具の被制御動作に関与する被検出因子を検出するためのセンサ、センサの検出出力を受けて電動工具の動作を制御する制御手段、及び被検出因子の情報を記憶する記憶手段を内蔵したことを特徴とする電池パック。

【請求項 3】

モータと、
前記モータに接続される減速機構と、
前記減速機構に接続されるハンマと、
前記ハンマにより打撃されるアンビルと、
複数の素電池を収納した電池パックと、
前記モータと前記素電池との間に設けられるスイッチング手段と、
電源スイッチと、を有し、
前記アンビルによりボルト等を回転打撃する回転打撃工具であって、
前記電源スイッチの上方に、前記モータ、前記減速機構、前記ハンマ及び前記アンビルを
配置し、
前記電源スイッチの下方に、打撃検出手段を配置したことを特徴とする回転打撃工具。

【請求項 4】

マイコンを有し、
前記打撃検出手段の検出出力に基づいて、前記マイコンを介して前記スイッチング手段を
制御することを特徴とする請求項 3 記載の回転打撃工具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2記載の電池パックは、電動工具の被制御動作に關与する被検出因子を検出するためのセンサ、センサの検出出力を受けて電動工具の動作を制御する制御手段、及び被検出因子の情報を記憶する記憶手段を内蔵したことを特徴としている。

かかる構成の電池パックによれば、既存の電動工具に電池パックを取り付けるだけで電動工具を制御することが可能になり、既存の電動工具の制御が容易になる。

請求項3記載の回転打撃工具は、モータと、前記モータに接続される減速機構と、前記減速機構に接続されるハンマと、前記ハンマにより打撃されるアンビルと、複数の素電池を収納した電池パックと、前記モータと前記素電池との間に設けられるスイッチング手段と、電源スイッチと、を有し、前記アンビルによりボルト等を回転打撃する回転打撃工具であって、前記電源スイッチの上方に、前記モータ、前記減速機構、前記ハンマ及び前記アンビルを配置し、前記電源スイッチの下方に、打撃検出手段を配置したことを特徴とする。

また、請求項4記載の回転打撃工具は、請求項3の回転打撃工具であって、マイコンを有し、前記打撃検出手段の検出出力に基づいて、前記マイコンを介して前記スイッチング手段を制御することを特徴とする。